

## 地域別大会における棒高跳の扱いについて

平成21年度より前までは、棒高跳の競技がある大会が都大会（総体、通信、支部）しかありませんでした。それまでは、都大会が初の試合となり、記録なしの選手や危険な跳躍をする選手も多く、記録が残れば入賞というレベルでした。そのような状況の中、平成21年度より、棒高跳の普及と強化、大会運営上の安全等を考慮し、地域別大会に棒高跳を追加しました。種目を追加する際、上記の理由により、記録会形式ということで始まりましたが、都大会の切符を記録部で作成したり、大会結果に棒高跳も他の種目と同様な形で出たりと、他の種目との違いが曖昧になっている部分がありました。

以下の条件で地域別大会において棒高跳を実施したいと思います。また、都大会の参加条件も以下の通り、合わせて確認したいと思います。

○競技形式：記録会形式

○出場選手について：

- ①地域別大会に参加できる標準記録を設ける。（安全面での配慮）  
（男子2m40 女子1m80 自校計測可）
- ②参加標準記録（2m40）に達していれば、学校での参加人数の制限は設けない。（何人でも可。3人目以降は競技委員長からナンバーカードの番号をもらうこと。）
- ③棒高跳に出場した選手は、地域別大会に1種目出場したことになり、他種目は1種目しか出場できない。（但し、リレーの参加は可）
- ④記録会形式なので賞状はださない。

○都大会への参加条件について：

- ①棒高跳は現行通り、都大会からの種目とする。
- ②総体の参加標準記録は男子2m60、女子2m00（公認）とする。この記録を地域別大会や他の競技会で跳べば出場できる。  
（各校2名まで。昨年度の入賞者がいれば（シード選手）それ以上もある。）
- ③通信大会の参加標準記録は、男子2m80、女子2m20（公認記録）及び、総体の入賞者とする。  
（各校2名まで。昨年度の入賞者がいれば（シード選手）それ以上もある。）
- ④支部対抗には正選手以外にオープンで出場できるが、その場合の参加標準記録は男子2m80、女子2m00とする。

○その他：安全面を考慮し、天候により棒高跳の日程を変更することもあり得る。

○女子棒高跳について

- ①地域別大会から実施する。（自校計測 1m80）
- ②競技会は、男子と同一日、同一時間に実施する。（2ピット使用）